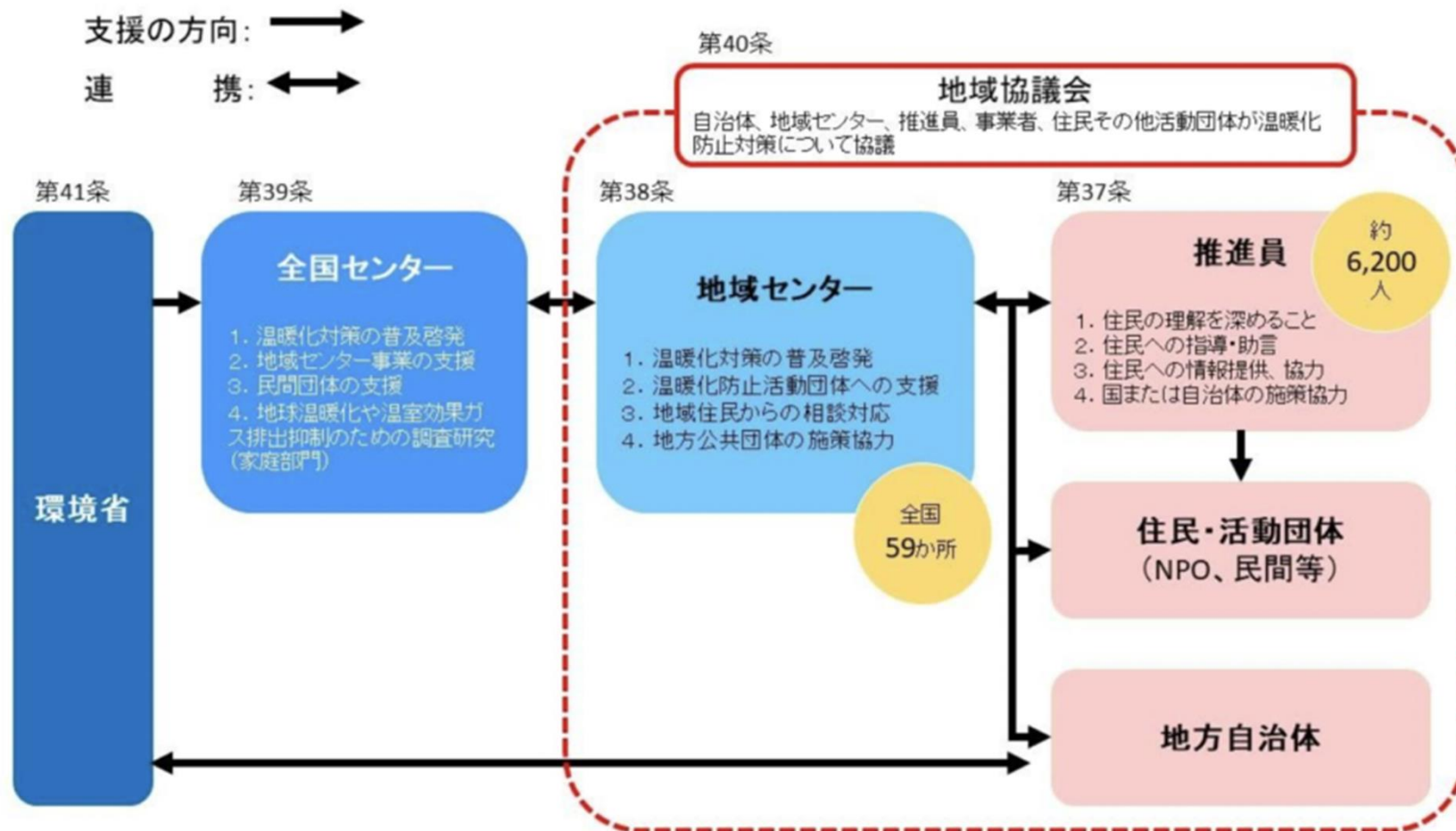


# 政策推進・支援拠点としての活動

2021年9月8日 北海道環境財団(北海道地球温暖化防止活動推進センター)  
環境省北海道環境パートナーシップオフィス 久保田 学

# 地域地球温暖化防止活動推進センターとは？

- ✓ 都道府県，政令指定都市・中核市が域内に一つ指定する政策推進拠点（地球温暖化対策の推進に関する法律第38条）
- ✓ 北海道環境財団は1999年に知事指定（全国初）



出所：全国地球温暖化防止活動推進センター

# 2020年度の主な活動

## 1. 広報啓発活動

- ① 推進員・地域と連携したセミナー等(函館市、旭川市、オンライン)
- ② 自治体・国と連携したセミナー(オンライン2回)

## 2. 学校教育支援

- ① オンライン授業(長万部町、北斗市)

## 3. 推進員の支援等

- ① 推進員向け学習会の開催
- ② 各種情報・啓発資材等の提供
- ③ 相談対応・企画支援
- ④ 函館・旭川でのサテライト情報提供
- ⑤ 制度の周知広報



# 2020年度の主な活動

## 4. 自治体の支援

- ① 環境省・北海道と連携した担当者向け勉強会(オンライン)
- ② 国の政策や補助金に関する情報提供(オンライン)
- ③ 自治体Cool Choiceの企画・制作・副読本作成等  
(北見市、斜里町、標津町、羅臼町)
- ④ 各種委員会への参画



## 5. 調査研究

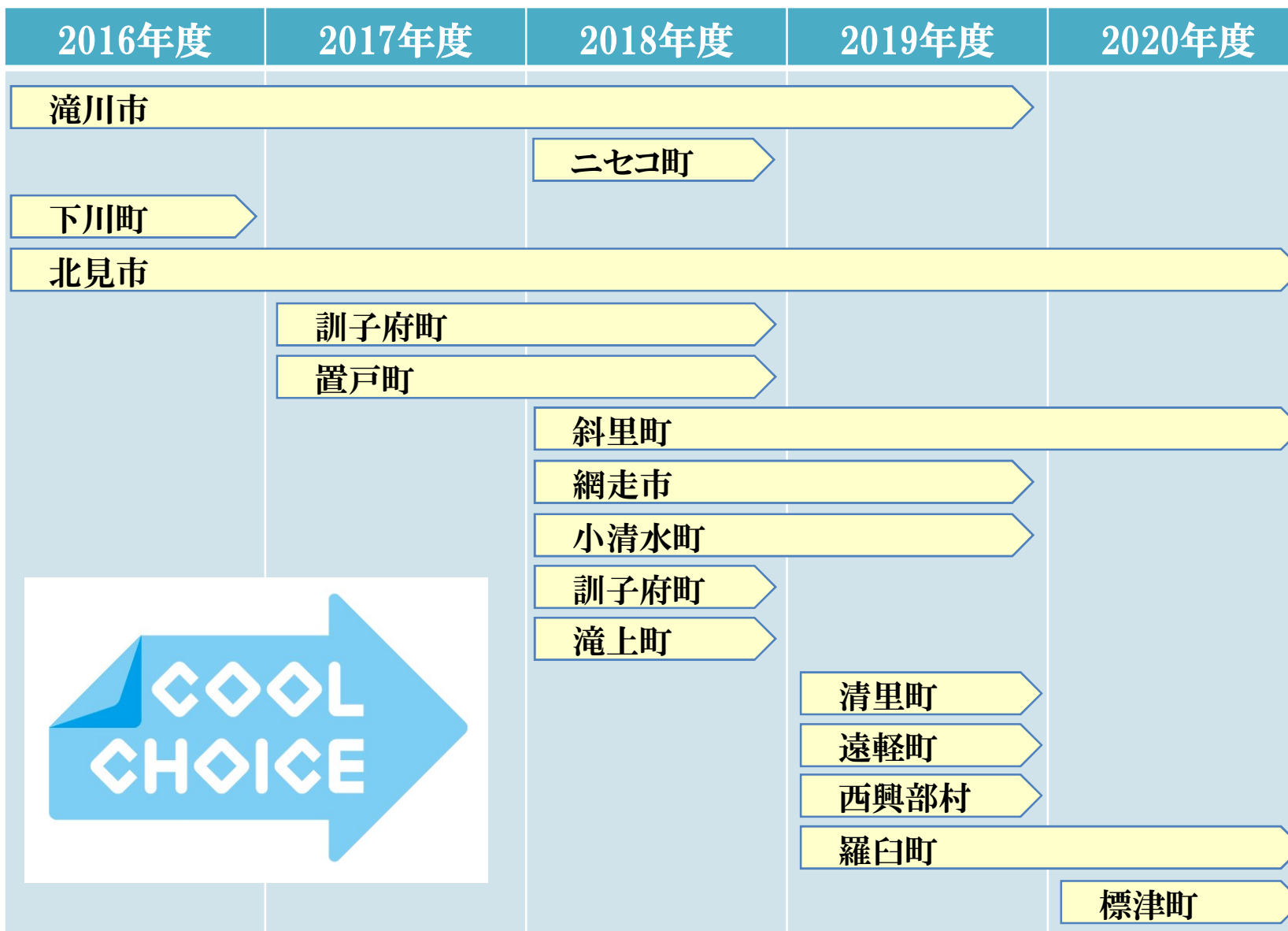
- ① 自治体と連携した住民・事業者の意識調査(旭川市、函館市)

## 6. 事業者支援

- ① J-クレジット創出、カーボン・オフセットのマッチング(4403tCO2)
- ② 国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン



# 自治体Cool Choice支援実績



# 自治体との連携事業の例 住民意識の可視化(北広島市, 2018年)

市と連携して住民意識  
を把握(アンケート調査)



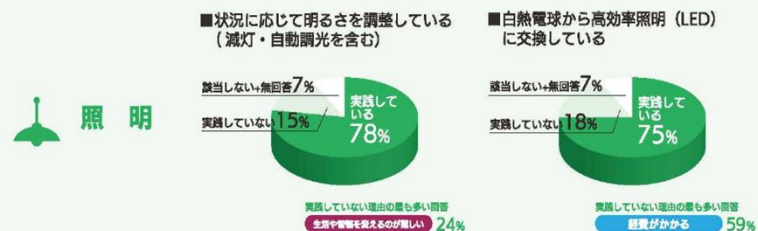
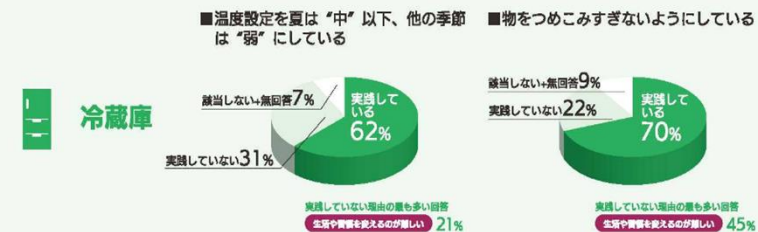
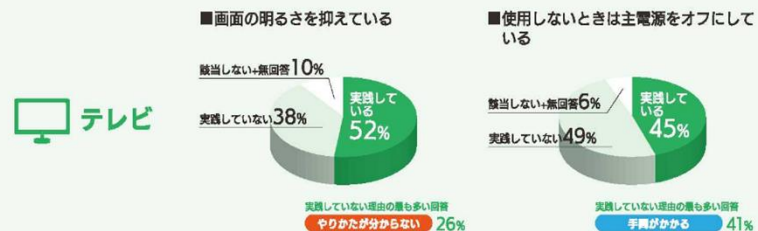
1000人に郵送  
有効回答数451人  
(人口の1%弱)

## 3 省エネルギー行動実施状況

以下の行動内容について、あなたの実施状況に最も近いものを選んでください。  
実施していないと回答した場合、実施していない理由を選んでください。

実施していない理由の選択肢

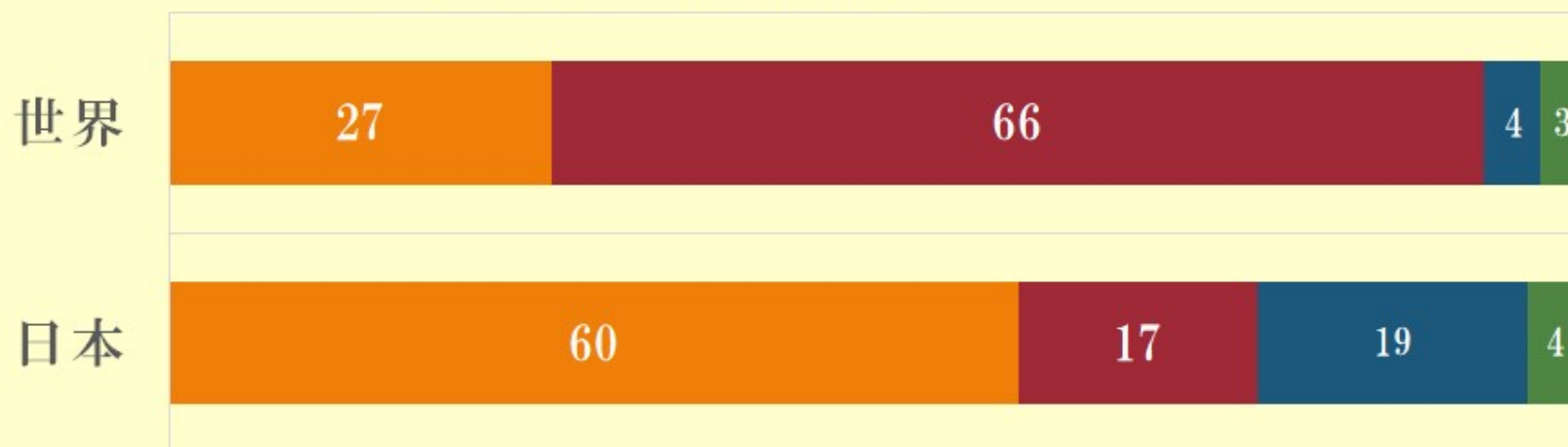
やりかたが分からない
効果分からない
手間がかかる  
経費がかかる
知らなかった
生活や習慣を変えるのが難しい



# 世界と日本の気候変動対策の受け止め方

【質問】 あなたにとって気候変動対策はどのようなものですか？

- 多くの場合生活の質を脅かすものである
- 多くの場合生活の質を高めるものである
- 生活の質に影響を与えないものである
- わからない／答えたくない



(データ出典：World Wide View on Climate and Energy, <http://climateandenergy.wvwviews.org/results/>)

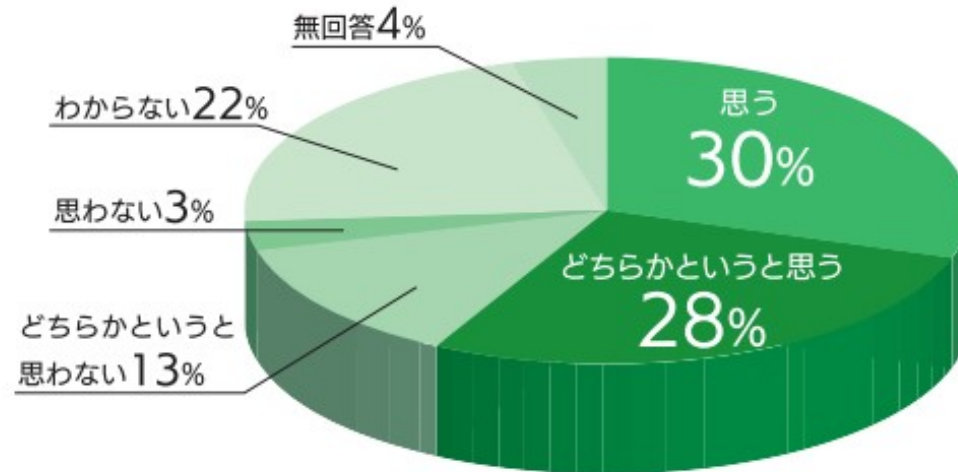
- ✓ ガマンの省エネ・コストの再エネ(= 負担感)
- ✓ 「脱炭素社会」の豊かさ・利点が社会に共有されていない

# 北広島市民の受け止め方(1)

## ① 暮らしの質の向上と温暖化対策

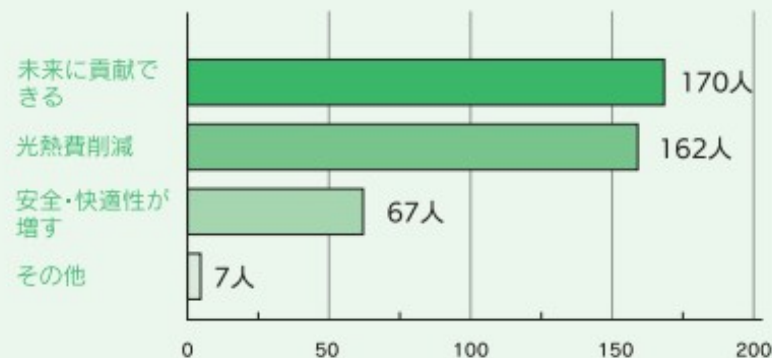


省エネ行動の実践や再エネ・省エネ設備導入などの温暖化対策は、**あなたの暮らしの質の向上につながると**思いますか？



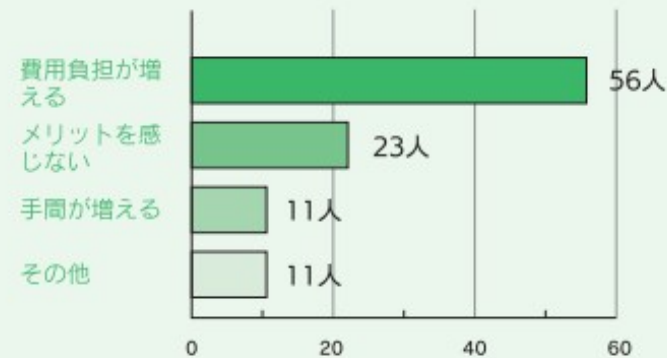
### ▶ 暮らしの質の向上に繋がると考えた理由

※「思う」「どちらかというと思う」を選択した方のみ  
(回答者数 261 人, 複数選択)



### ▶ 暮らしの質の向上に繋がらないと考えた理由

※「どちらかというと思わない」「思わない」を選択した方のみ  
(回答者数 71 人, 複数選択)



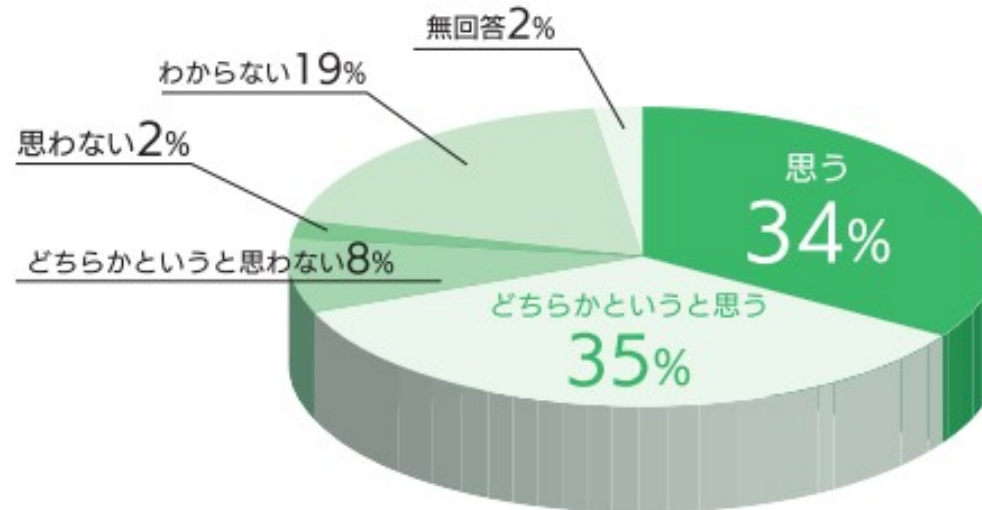


# 北広島市民の受け止め方(2)

## ② 地域の豊かさと温暖化対策

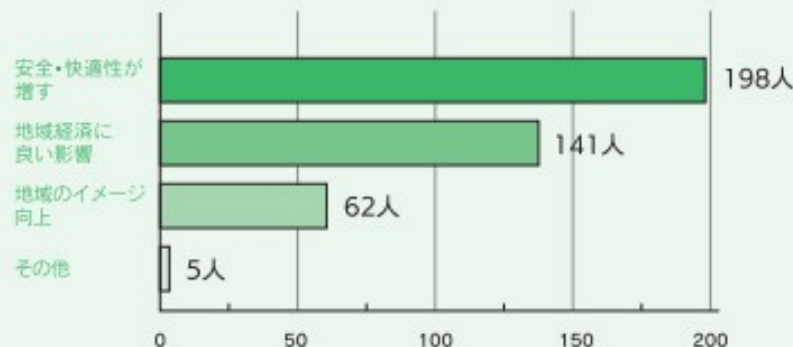


省エネ行動や再生可能エネルギー設備導入などの温暖化対策を進めることは、**地域の豊かさの向上**につながるとお考えですか？



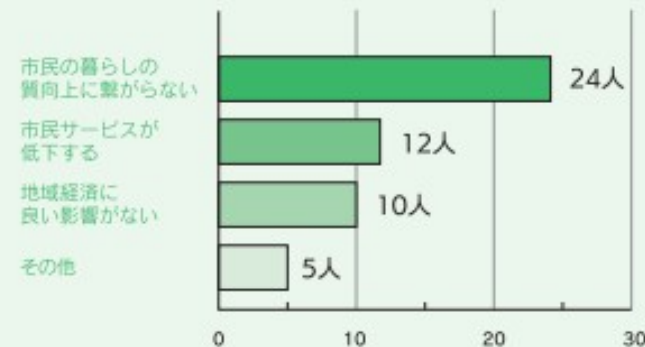
### ▶ 地域の豊かさの向上に繋がると考えた理由

※「思う」「どちらかというと思う」を選択した方のみ  
(回答者数 310 人, 複数選択)



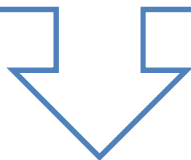
### ▶ 地域の豊かさの向上に繋がらないと考えた理由

※「どちらかというと思わない」「思わない」を選択した方のみ  
(回答者数 47 人, 複数選択)



# 調査結果を冊子でフィードバック(2019年)

北広島市民のデータを用いた啓発冊子を作成し、調査対象者に配布



## かしこい冷蔵庫の使い方

冷蔵庫に物をつめこみすぎないように

年間で**43.84kWh**の省エネ／約**1,310円**の節約  
**北広島市民の実践率 70%**

季節に合わせて温度調整

年間で**61.72kWh**の省エネ／  
 約**1,840円**の節約  
**北広島市民の実践率 62%**

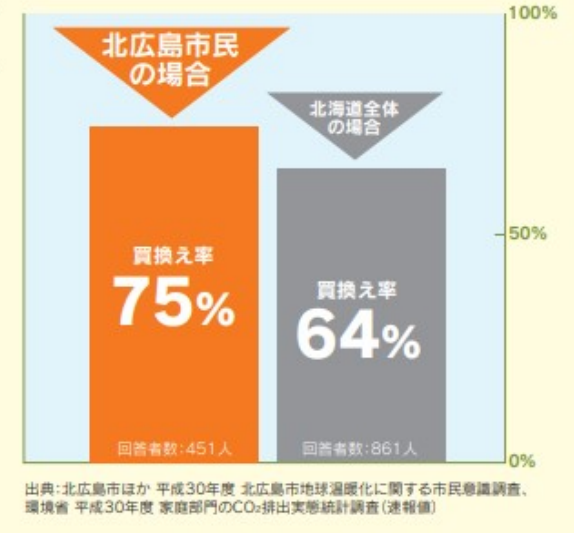
庫内温度を 強 → 中      庫内温度を 中 → 弱

※食品の傷みに注意して調節してください。

④

## LED照明の買換え率は?

北広島市民のLED ランプへの交換状況(一箇所以上)について調査したところ、**75%**もの市民が交換を実践していることが分かりました。



# 地元の意識を伝える

## ● 温暖化防止のために暮らしを変える必要性 回答者数:451人



あなたは温暖化の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか？

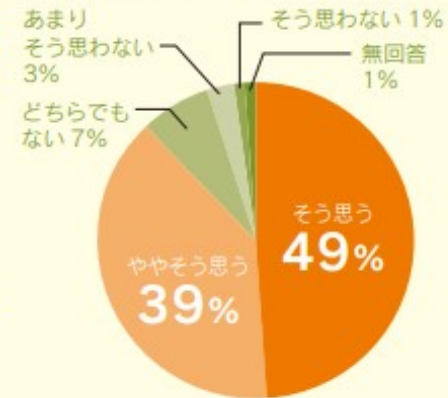
### 北広島市民の88%が、暮らしや習慣を変える必要があると回答

平成 28 年度の全国調査では 73%であったことから、比較して**北広島市民は温暖化防止のため何らかの行動を取ろうとする意識が高い**ことがうかがえました。

全 国

国立環境研究所 平成28年度 日本人の環境意識に関する世論調査

「**そう思う**」、「**ややそう思う**」と回答 **73%**



## ● 温暖化防止に繋がる取組の実践度 回答者数:451人

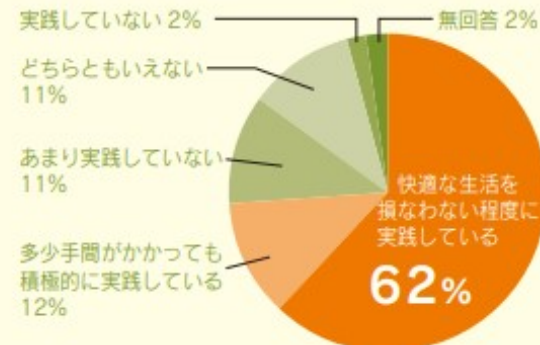


あなたは、暮らしの中で、省エネなど温暖化対策に繋がる取組を、どの程度実践していますか？

### 最も多い回答は「快適な生活を損なわない程度に実践している」62%

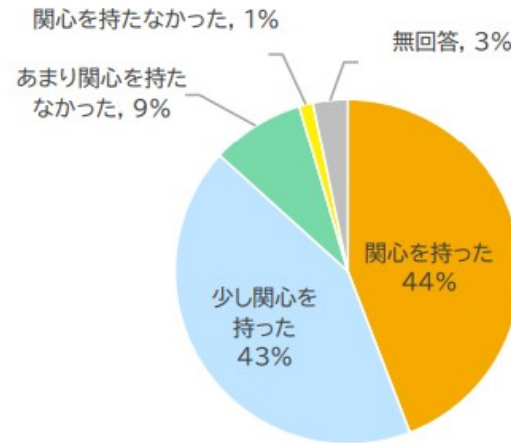
次いで「多少手間がかかっても積極的に実践している」12%でした。

**北広島市民は温暖化防止に関する意識を高く持ち、かつ、快適性ととの両立を重要視する層が多い**ことが分かります。

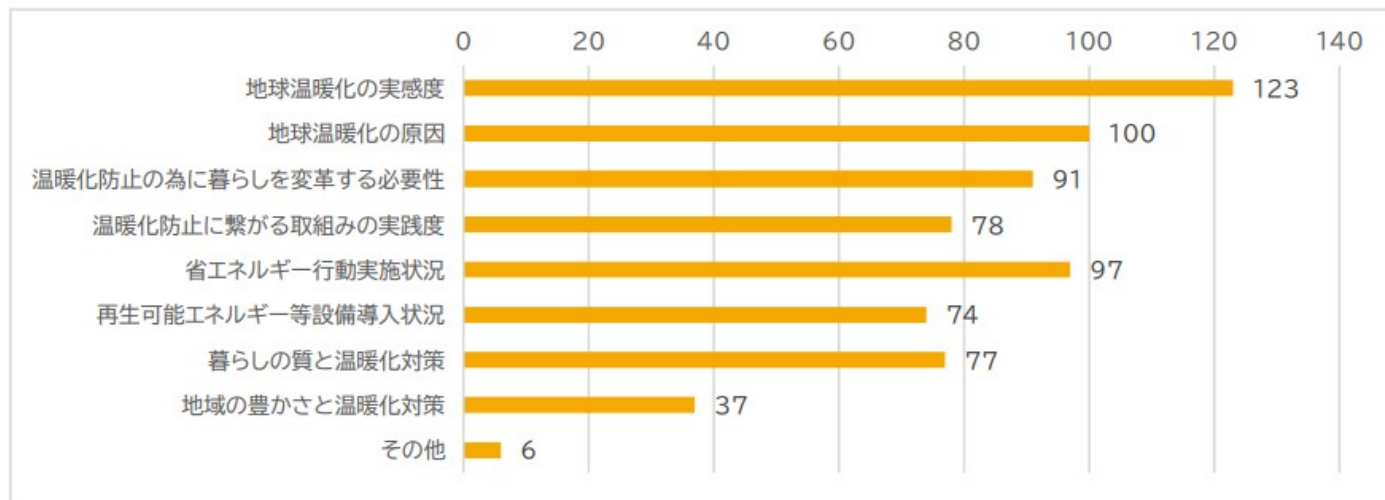


# 効果測定(2019年)

問3 調査結果パンフレットを通して、地球温暖化、あるいは地球温暖化に関する北広島市民の考え方などに、関心を持ちましたか？



問4 調査結果パンフレットのうち、印象に残った調査結果を教えてください(複数回答)

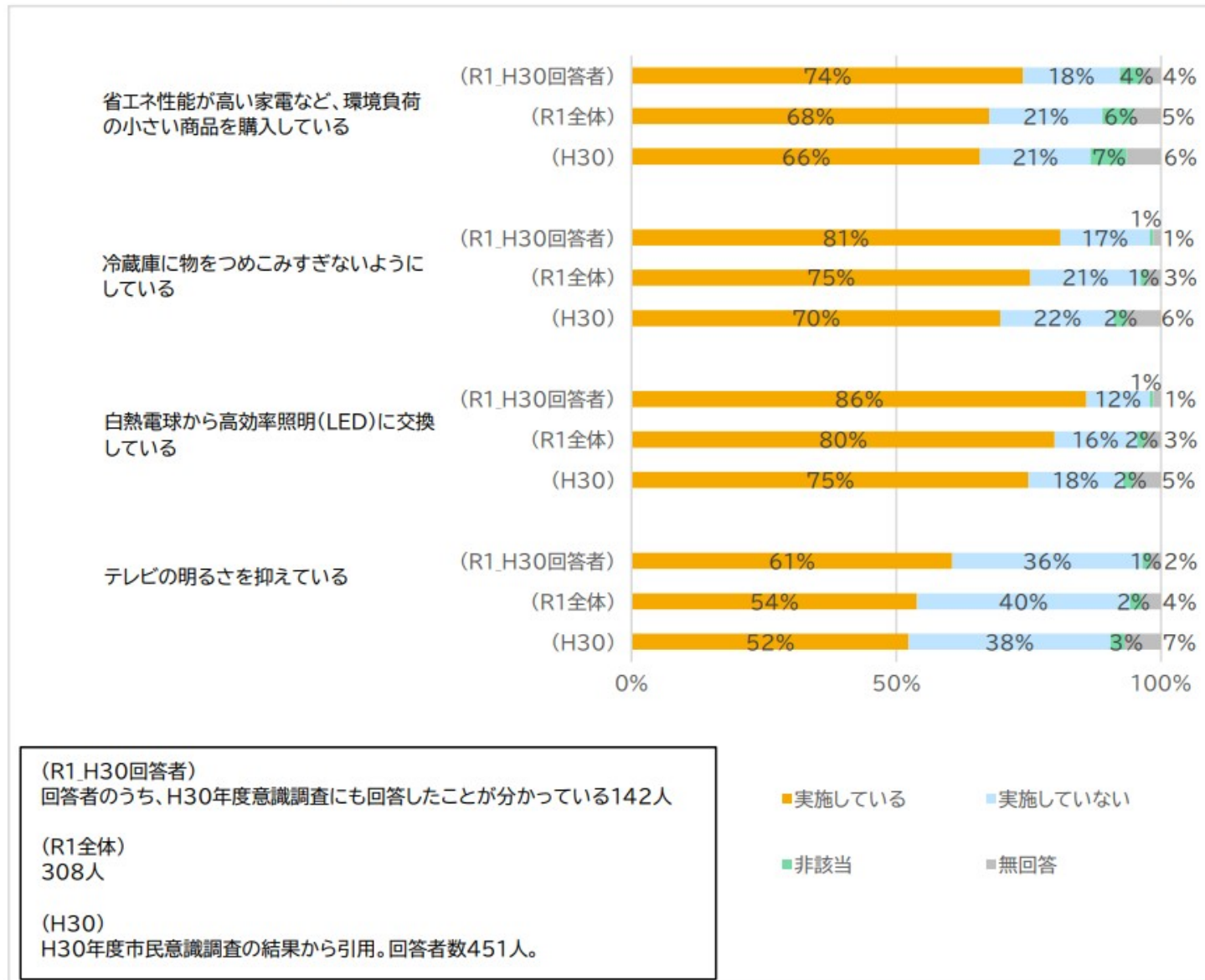


啓発冊子にアンケートを同封し回答を分析

(n=308)

# アンケート結果＋地元データのフィードバックに一定の効果

## ▶平成 30 年度市民意識調査との比較



# 自治体と連携した各種意識調査

他にも、函館市，旭川市（2020年度），登別市（2019年度），石狩市（2018年度）で実施

詳しくはこちらから  <http://www.heco-spc.or.jp/coolchoice/>



# EPO北海道事業構成(2021年度)

## 活動目標

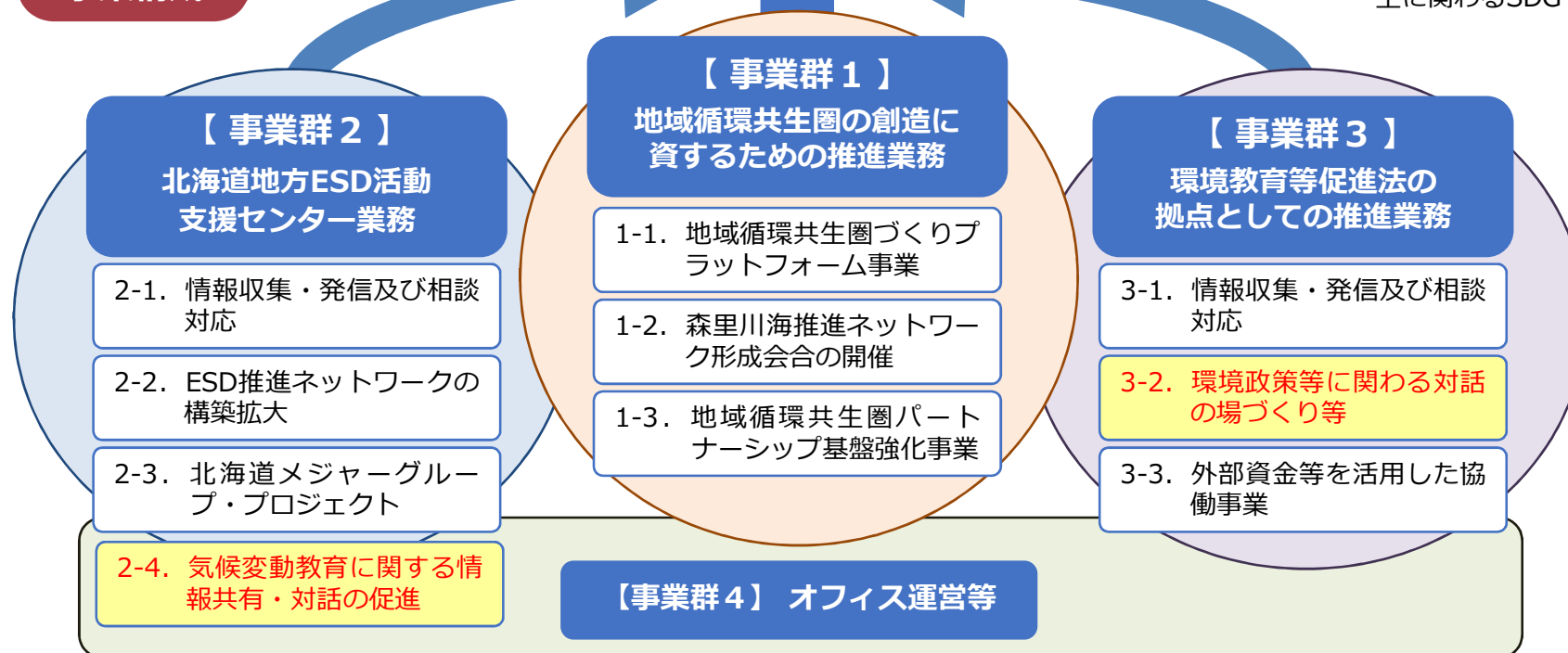
## ローカルSDGs 「地域循環共生圏」の実現推進

「地域循環共生圏」づくりに向けて、道内各地で対話や学習、協働による実践が進み、複数の地域や事業において、先進的なモデルが形成されている。



主に関わるSDG

## 事業構成



詳しくは <https://epohok.jp/>

# 政策対話の場づくり

- 国や自治体の政策立案過程での市民意見の募集手続きを支援する政策コミュニケーションの手法を試行～開発。
- 単なる情報公開ではなく、担当者との対話や参加者間の意見交換をととして、政策に関する自分の考えを整理し意見提出を後押しする。
- 参加者の多くが意見を提出する。（効果を可視化できる。）

担当者の説明  
を聞く



参加者間の対話  
+意見出し



シェア  
+意見交換



手法は確立されているが、実践者の確保・育成、及び政策形成初期段階での対話機会を増やしていく必要がある。



# 直近の実績(気候変動関係)

事業名	実施日	開催地	参加者数
<b>環境白書</b> を読む会 (毎年実施)	2021年8月26日	オンライン	94人
	〈参考〉 2020年度： 札幌77人, 釧路44人		
<b>札幌市気候変動対策行動計画</b> パブリックコメント・ダイアログ	2021年1月13日	オンライン	19人
<b>北海道地球温暖化対策推進計画</b> (第3次・素案)パブリックコメント・ダイアログ	2021年3月15日	オンライン	13人

# 「気候変動教育」に関する勉強会(2021年～)

## 脱炭素社会づくりの加速

- 第五次環境基本計画～地域循環共生圏の提唱(2019年)
- 世界の潮流と我が国の2050年脱炭素宣言(2020)
- 温対法改正・強化(2021年)

## 「持続可能社会の創り手」の要請

- 環境教育等促進法
- SDGs(2015年)
- ESD for 2030(UNESCO,2020)
- 新学習指導要領(2020年～)
- ESD国内実施計画(2021年)

- 多くの人々が気候対策の必要性・可能性を理解し、脱炭素社会の受容度を高めていく必要がある
- そのためにも、社会の各分野で気候対策を働きかけ、実践を生み出す人材が必要

## 課題

- 学校教育：気候変動に関する教育体系はなく、実践状況も不明。
- 社会教育：非営利組織や行政を中心として、セミナー等は数多く行われているが、職場での教育機会や人材に関する情報は少ない。
- 推進主体：温暖化防止センターによる実践も断片的で集約されていない。

関係者の情報共有を進め、体系化し、推進戦略を持つ必要がある。

# 開催実績・予定

【第1回】 2021年7月14日(水) 13:30~15:00	地域におけるこれからの気候教育を考える 講師：高橋敬子さん(立教大学ESD研究所特任研究員) 参加者：91人(オンライン)
【第2回】 7月26日(月) 16:00~17:30	気候変動教育のエッセンス:国際的に見た日本の課題 講師：永田佳之さん(聖心女子大学教授) 参加者：98人(オンライン)
【第3回】 9月7日(月) 16:00~17:30	「気候変動の地元学」による共学と共創 講師：白井信雄さん(山陽学園大学教授) 参加者：69人(オンライン)
【第4回】(予定) 9月29日(水) 16:00~17:30	学校向けプログラム開発と実証 (1)福井県版気候変動教育プログラム2種の紹介~方法と成果分析 講師：水上聡子さん(アルマス・バイオコスモス研究所) (2)「気候変動対策×主権者教育」プロジェクト 講師：福岡真理子さん((一社)あきた地球環境会議)
【第5回】(予定) 10月21日(木) 16:00~17:30	(仮)学校教育とNPOの連携による学習の仕組みづくり 講師：服部乃利子さん((NPO)アースライフネットワーク) 豊田陽介さん((NPO)気候ネットワーク)
【全国フォーラム】(予定) 12月10日(金)~11日(土)	ESD推進ネットワーク全国フォーラム(東京)にて、気候変動教育に関する分科会を開催予定

詳しくはこちらから  <https://epohok.jp/act/info/esd/climate-change-education>

ご静聴ありがとうございました